

1. 開催日時 平成 28 年 6 月 6 日（月） 午後 1 時 30 分～3 時 15 分
2. 開催場所 ロワジールホテル函館 3 階「琥珀」
3. 出席者 委員 22 名（委任出席 2 名を含む）、オブザーバー 4 名
4. 議事の結果内容

はじめに、事務局より総会開会を告げ、本日の出席者数は委任出席を含む 22 名であることから規約に基づき本総会は有効に成立するとの発言があり、続いて、西村会長より開会の挨拶、事務局より新委員の紹介がなされた後、規約に基づき西村会長を議長とし議事に入る。

議案第 1 号 平成 27 年度事業報告並びに収支決算報告について

事務局より、説明及び報告がなされた後、藤森監事より監査報告が行われ、議長が出席者に諮ったところ、異議無く承認され議決された。

議案第 2 号 平成 28 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

事務局より、予算の都合はあるが、中心市街地活性化フォーラムの開催のほか、本年秋以降、基本計画の事業が続々と開始されるに併せ、参加者を募った見学会的なものの実施を検討していきたい旨説明があり、議長が出席者に諮ったところ、異議無く原案通り承認され議決された。

議案第 3 号 中心市街地活性化基本計画の取り組み状況について

函館市経済部中心市街地担当中村課長より説明がなされ、以下のとおり質疑応答がなされた後、議長が出席者に諮り、中心市街地活性化基本計画の取り組み状況については、概ね順調に進んでいるとの意見で、異議無く承認され議決された。

（渡辺良三委員）

- ・グリーンプラザ整備に関し 28 年度に基本計画を作るそうですが、30 年頃に終わる予定のアーケード撤去とその後の街区整備に、グリーンプラザの整備事業が間に合うのかどうか。
- ・福祉ボランティアセンター整備事業、高齢者サロン事業の実施主体はどこになるのか。

（平井尚子委員）

- ・グリーンプラザ整備事業につきましては、来年度以降、基本設計、実施設計にとりかかる。30 年に完成が間に合うかどうかはわかりませんが、計画・設計のほうは間に合うと思われる。
- ・福祉ボランティアセンター整備事業、高齢者サロン事業については、市福祉部のほうで公募をしている。事業者は現時点で決定はしていない。

（永澤大樹委員）

- ・アーケード撤去事業に関連し、駅前通りの整備が概ね完了する年次はどのあたりを目途に置いているのか。
- ・基本計画に掲載されていない A 街区について直近動きが出ているようなので、この場で説明できる範囲で情報提供をお願いしたい。

（平井尚子委員）

- ・駅前通りの整備に関しては、国の開発建設部で実施しており、予算の関係もあり何時までに完了するのか明確な提示は受けていない。しかし 3 年程掛かると言われており、30 年度あるいはもう少し先と考えている。
- ・A 街区について募集要項が公開され、事業者向け説明会が行われた。今後 7～8 月頃に事業者の募集が行われる。9 月頃に事業者が決定する見込み。

(永澤大樹委員)

・A街区について、最終形としていつ頃、どのようなものが出来るのか。駅前通りも開発建設部が主体とすれば、地元としては要望・熱意を高める動きも必要と考えるが、アクションを市側としては、経済界と足並みを揃えて、どのような行動を取っていこうと考えるのか。

(平井尚子委員)

・駅前通りの整備に関しては、市としても基本計画期間の29年度中に完了してもらいたいと要望しているが、確実に終われるとの返事は頂いていない。このような会合でも意見が出ていた旨開発建設部に強く要望を伝える。

・A街区について、いつ、どのようにといった情報は把握していない。企画部が進めているが各段階で情報を収集しどこかの機会に皆さんに伝えたい。できるだけ公表していきたい。

(片岡格委員)

・駅前通りの次に、十字街方面への電線地中化を要望している。駅前通りは歩道整備もあり、これは開発建設部の担当だが積極的な予算付けをお願いしている。

(渡島振興局 池本浩暁オブザーバー)

・振興局も各種事業をおこなっており、個別な課題について情報交換をさせていただき、協力、連携をしていきたい。

(生田健作委員)

・電動アシスト付き自転車レンタルサービス事業について教えていただきたい。

(永澤大樹委員)

・新幹線推進機構は開業後の経済効果を確認なものにする使命があり、開業後が一つのスタートラインとも言えるが団体の期限は残り1年間である。当事業は平成22年度より実施し、予算の無い中、自転車を8台リースしサービスを開始した。現在は14台まで台数が増え当事業は団体の運営に充てる負担金にて自賄いで運営している。サービス期間は4月上旬～11月下旬までであり利用実績は伸びている。平成27年度は1732名の利用あり。係る経費分は売上で賄っている。分析したところ、当市の観光地は坂の途中に多く電動アシストが優位であること、駐車場にしばられず自由に動けることが利用増加の一因である。利用者の半分以上が日常生活の足として自転車を利用している人が多い首都圏の方である。道内の方は車で回る習性があり利用は少ない。インバウンドの方も増えており、説明書きも多言語とした。天候など外部環境に左右されやすく今後の利用拡大には採算がとれる範囲での若干の増車が必要。今後も観光に役立ってほしく承継先を含めサービスの継続を検討していく。

(北海道開発局 坂本毅氏)

・十字街の電線地中化は事業化しており、今年度調査設計をしていきたいと考えている。

その他

1. 五稜郭ガーデンの進捗状況について

(株)まちづくり五稜郭代表取締役の久保一夫氏より報告がなされた。

2. 平成27年度中心市街地商業活性化診断・サポート事業の実施結果について

中小機構北海道本部中心市街地サポートマネージャーの山下雅司氏より報告がなされた。

3. その他

・本年10月15日オープン予定の「はこだてみらい館」「はこだてキッズプラザ」のPR映像が流された。

以上